Trimble　S7、S6、S5、S3

「TS 条件」

A-AdB 3.0.4にてTrimble Robotic 連続測距機能が追加されています。
3.0.4 の説明書をご覧ください。

ゼロセットは、ＴＳ側で行なってください。
輪郭も、ＴＳ側で設定してください。

プログラム選択の”TS タブ”の画面にする。
（efit+の画面では使用できない。）

「TS で測設する」は、説明書　A-SurveyAd_182.pdf を
ご覧ください。

・Ｓ７，Ｓ６，Ｓ３は、TS本体に、SD1000Uを接続して使用できます。
ユーザ投稿を参照。

・TCUを外すとTS本体のコネクタは使用不可になります。

・本体は、USB接続でロボティックキットはシリアル接続です。
よって、ロボティックキットにはSD1000Uは使用できません。
BlueToothアダプタやSD1000での使用になります。

・Ｓ５は、Class1 の BlueTooth を内蔵しています。
本体の BlueTooth と接続して使用してください。

・TS タブの設定ボタンから、「通信」の「NTRobo プロトコルを使用する」の
チェックを外してください。メーカーソフトの使用設定です。

タイムアウト：ＴＳの測距に掛かる時間＋αで設定します。
指定時間内に、データを取得できない場合は
“タイムアウトエラー”と案内されます。
原因を解消し、再度測定してください。

ウェイト：ＴＳへの命令を連続で出す場合に、入力時間待って処理します。
500 ミリ秒は、０．５秒になります。

測距回数：距離の測定回数です。座標計算は平均が使用されます。
ＡＰＡファイルや記録簿には、全データが保存されます。